

展示場新構築のお知らせ
朝鮮半島の文化 中国地域の文化・日本文化「沖繩のくらし・多民族ぞくニホン」の展示場が3月20日(木)に新しくオープン!

人間文化研究機構第23回公開講演会・シンポジウム「高齢期のウェルビーイングと多様な住まい方」
高齢期のウェルビーイングに配慮した多様な住空間構想が、すべての人にとって住み心地のよい、地域文化を活かしたコミュニティを育ててゆく可能性と道筋について考えます。

公開講演会「働き者と、ナマケモノ!?」
「はたらきかた」文化論
働き者はどこにいるのでしょうか。高度福祉国家フィンランドにおける事例、成果の不確実性がつねに大きいカツオ釣り漁業者の事例などから、「はたらきかた」を文化としてとらえます。

日時 3月20日(木) 18時30分〜20時45分
会場 オールホール
(大阪市北区梅田3-4-15)
毎日新聞社「ルビー」
※要事前申込、参加無料、参加証必要

お申し込み・お問い合わせ先
本館 研究協力係
電話 06-6878-8209
記念シンポジウム
金沢大学文化資源学シンポジウム「文化資源学がめざすもの」研究・教育・国際貢献
金沢大学と東京文化財研究所、本館との連携協定を記念して、「文化資源学」がめざすものについて意見を交わします。

国際シンポジウム「個人・家族・国家のゆくえ——文化人類学と人口学からの学際的アプローチ」
今日のサハラ以南アフリカ地域における個人と家族、国家が直面する課題を検討します。

公開シンポジウム「災害と展示」
災害に対し展示はどうあるべきか、あるいは災害に強い展示とはどのようなものか、これまでの事例から検討します。

日時 3月16日(日) 13時〜16時25分
会場 本館第5セミナー室(定員80名)
※申込不要、参加無料
お問い合わせ先
日高研究室 shidaka@dc.minpaku.ac.jp

日時 3月29日(土) 13時30分〜17時
会場 本館第5セミナー室(定員80名)
※申込不要、参加無料
お問い合わせ先
名誉教授室 yoshimura@dc.minpaku.ac.jp
「伝統と創意——台湾原住民工芸の現在」
本館の新しくなる「東アジア展示場」に展示する台湾の原住民民族衣装を制作したタイヤル族、バイワン族の工芸作家、そしてユンマ族の研究者をお招きし、原住民の工芸についてお話しいただきます。

日時 3月30日(日) 13時20分〜16時45分
(開場13時)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、参加無料
みんなく映画会「みんなくワールドシネマ」人生はビギナーズ
75歳にして同性愛者だとかミングアウトし、短い余生を思うままに生きる父と、自分自身に自信が持てない息子との交流を描いた作品を通して、これまでの家族形態における同性愛者の存在と人間関係、これからの新しい家族の在り方を考えます。

日時 3月16日(日) 13時30分〜16時30分
(開場13時)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、参加無料
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布
みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」
日時 3月8日(土) 12時〜15時30分
会場 本館エントランスホール
※当日随時受付、参加無料

地球おはなし村
「おはなし、おはなし〜西アフリカの昔話をかたる〜」
日時 3月16日(日) 13時30分〜14時
会場 本館エントランスホール
※当日受付、参加無料

友の会

友の会講演会(大阪)
会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)

第430回 4月5日(土) 14時〜15時
「新中国地域の文化展示より」
中国最大の少数民族 チワン(壮)族の現在
講師 塚田誠之(国立民族学博物館教授)

新しい展示では、中国地域には漢族の文化以外にもさまざまな民族の豊かな文化が見られることを紹介しています。その中からとくに多くの民族がくらす中国南部の少数民族、チワン(壮)族を事例にお話しします。彼らの伝統的な高床式住居のくらしや年中行事を紹介するとともに、国境地域にくらす人ひとが 国境を越えてベトナム側の同系民族と交流をおこないネットワークを築いていることにも注目してみます。

第431回 5月3日(土) 14時〜15時
「新中国地域の文化展示より」
漢族はなぜ家族を大切にするのか
講師 韓敏(国立民族学博物館教授)

東京講演会
会場 国立新美術館研修室A・B
定員 60名(要事前申込)

第108回 3月9日(日) 13時半〜14時15分
国立新美術館での「イメージの力」展開催にあたって
講師 須藤健一(国立民族学博物館館長)

「イメージの力」展は本館所蔵の34万点の標本資料から「美的基準」にもとづいて約600点を選びました。美術館の展示はアート、民族学博物館のものは民族資料と言われてきました。今回は民博コレクションを国立新美術館で披露する試みです。みなさん、世界各地の住人が創りだした多種多様な造形物のなかに「美しさ」や「アート」を発見する楽しさを味わってください。本講演は、「美の普遍性」に思いをめぐらすことにします。
※講演会終了後に、国立新美術館研究員による展示概要の解説(30分)もおこないます。

「片倉もとこ先生をフィールドワークする」
アフリカ遊牧民をはじめとするイスラム研究を中心し、文化人類学、比較文明学等の幅広い分野で国際的に活躍された先生の軌跡を振り返り、それを一層発展させます。

「片倉もとこ先生をフィールドワークする」
アフリカ遊牧民をはじめとするイスラム研究を中心し、文化人類学、比較文明学等の幅広い分野で国際的に活躍された先生の軌跡を振り返り、それを一層発展させます。

みんなくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分〜15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は観覧料が必要です)

第430回 3月15日(土)
装いのセンスと伝承——中国のフィールドから
講師 横山廣子(国立民族学博物館准教授)

中国雲南省では、さまざまな民族衣装を目にします。日常的に着る人は減少していますが、民族衣装は大切にされています。変化しつつ伝承され、洗練されてきた装いのセンスが、色合い、形、装飾、そして何より着方にあらわれます。それを紹介し、伝承がどのようにおこなわれるのかも考えてみます。

第431回 4月19日(土)
世界の華僑・華人と、故郷
講師 陳天璽(早稲田大学准教授・本館特別客員教員)

中国国外に居住する中国系は華僑・華人と呼ばれており、4000万人以上いるとみられています。世界に根を下ろしながらも中国の伝統文化を守り続けている人びとといへば、異民族との通婚や世代交代により独特な複合文化を形成している人びともいます。そんな彼らの多彩な日常生活から、「故郷」とのかかわりについてみていきます。

東アジア華僑が故郷の家族に宛てた手紙
写真: 東アジア華僑が故郷の家族に宛てた手紙

みんなく映画会

日時 3月29日(土) 13時30分〜17時
会場 本館第5セミナー室(定員80名)
※申込不要、参加無料

お問い合わせ先
名誉教授室 yoshimura@dc.minpaku.ac.jp

「伝統と創意——台湾原住民工芸の現在」
本館の新しくなる「東アジア展示場」に展示する台湾の原住民民族衣装を制作したタイヤル族、バイワン族の工芸作家、そしてユンマ族の研究者をお招きし、原住民の工芸についてお話しいただきます。

みんなく映画会「みんなくワールドシネマ」人生はビギナーズ
75歳にして同性愛者だとかミングアウトし、短い余生を思うままに生きる父と、自分自身に自信が持てない息子との交流を描いた作品を通して、これまでの家族形態における同性愛者の存在と人間関係、これからの新しい家族の在り方を考えます。

みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」
日時 3月8日(土) 12時〜15時30分
会場 本館エントランスホール
※当日随時受付、参加無料

地球おはなし村
「おはなし、おはなし〜西アフリカの昔話をかたる〜」
日時 3月16日(日) 13時30分〜14時
会場 本館エントランスホール
※当日受付、参加無料

「おはなし、おはなし〜西アフリカの昔話をかたる〜」
日時 3月16日(日) 13時30分〜14時
会場 本館エントランスホール
※当日受付、参加無料

みんなく映画会

日時 3月29日(土) 13時30分〜17時
会場 本館第5セミナー室(定員80名)
※申込不要、参加無料

お問い合わせ先
名誉教授室 yoshimura@dc.minpaku.ac.jp

「伝統と創意——台湾原住民工芸の現在」
本館の新しくなる「東アジア展示場」に展示する台湾の原住民民族衣装を制作したタイヤル族、バイワン族の工芸作家、そしてユンマ族の研究者をお招きし、原住民の工芸についてお話しいただきます。

みんなく映画会「みんなくワールドシネマ」人生はビギナーズ
75歳にして同性愛者だとかミングアウトし、短い余生を思うままに生きる父と、自分自身に自信が持てない息子との交流を描いた作品を通して、これまでの家族形態における同性愛者の存在と人間関係、これからの新しい家族の在り方を考えます。

みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」
日時 3月8日(土) 12時〜15時30分
会場 本館エントランスホール
※当日随時受付、参加無料

地球おはなし村
「おはなし、おはなし〜西アフリカの昔話をかたる〜」
日時 3月16日(日) 13時30分〜14時
会場 本館エントランスホール
※当日受付、参加無料

「おはなし、おはなし〜西アフリカの昔話をかたる〜」
日時 3月16日(日) 13時30分〜14時
会場 本館エントランスホール
※当日受付、参加無料

みんなく映画会

日時 3月29日(土) 13時30分〜17時
会場 本館第5セミナー室(定員80名)
※申込不要、参加無料

お問い合わせ先
名誉教授室 yoshimura@dc.minpaku.ac.jp

「伝統と創意——台湾原住民工芸の現在」
本館の新しくなる「東アジア展示場」に展示する台湾の原住民民族衣装を制作したタイヤル族、バイワン族の工芸作家、そしてユンマ族の研究者をお招きし、原住民の工芸についてお話しいただきます。

みんなく映画会「みんなくワールドシネマ」人生はビギナーズ
75歳にして同性愛者だとかミングアウトし、短い余生を思うままに生きる父と、自分自身に自信が持てない息子との交流を描いた作品を通して、これまでの家族形態における同性愛者の存在と人間関係、これからの新しい家族の在り方を考えます。

みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」
日時 3月8日(土) 12時〜15時30分
会場 本館エントランスホール
※当日随時受付、参加無料

地球おはなし村
「おはなし、おはなし〜西アフリカの昔話をかたる〜」
日時 3月16日(日) 13時30分〜14時
会場 本館エントランスホール
※当日受付、参加無料

「おはなし、おはなし〜西アフリカの昔話をかたる〜」
日時 3月16日(日) 13時30分〜14時
会場 本館エントランスホール
※当日受付、参加無料

みんなく映画会

日時 3月29日(土) 13時30分〜17時
会場 本館第5セミナー室(定員80名)
※申込不要、参加無料

お問い合わせ先
名誉教授室 yoshimura@dc.minpaku.ac.jp



ドリームキャッチャー 3200円 ※価格は税抜きです。